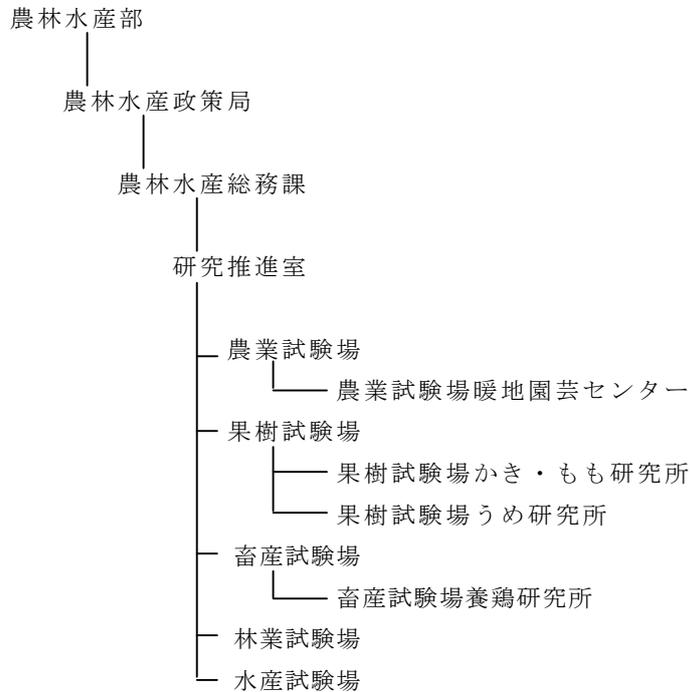


# 水産試験場概要

## I 機構と組織

### 1 機構



### 2 内部組織



### 3 職員の構成

区 分	行政職	研究職	現業職	計
場長		1		1
副場長		1		1
企画情報部		3	2	5
資源海洋部		6		6
増養殖部	1	4		5
漁業調査船	8			8
内水面試験地		3		3
	9	18	2	29

#### 4 職員と職務分担

部 名	職 名	氏 名	事務分担
	場 長	中西 一	場の総合企画及び総括
	副場長	小久保 友義	場長の補佐，人事，服務，庁舎の管理，予算の総括
企画情報部	部 長	小川 満也	部の総括・企画調整，流通対策，魚礁調査，成果の公表・普及に関すること
	主任研究員	木下 浩樹	藻場造成（ホンダワラ目）・食害対策，漁場環境（生物モニタリング）に関すること
	副主査研究員	吉本 洋	庶務関係に関すること
	用務員	田所 恵子	庁舎内の清掃
	用務員	田中 千秋	〃
資源海洋部	部 長	武田 保幸	部の総括・企画調整，漁海況速報に関すること
	主任研究員	中地 良樹	漁業資源・漁場調査と情報提供（総括），海洋観測に関すること
	主査研究員	堀木 暢人	資源管理，船びき網漁業に関すること
	主査研究員	原田 慈雄	卵稚仔調査，まき網漁業，魚群探知機に関すること
	主査研究員	御所 豊穂	高精度海況図，海況日報作成，高度回遊性魚類（マグロ類）に関すること
	研究員	小林 慧一	イサキ，高度回遊性魚類（カツオ），カツオマップに関すること
増養殖部	部 長	奥山 芳生	部の総括・企画調整，飼育施設等の保守管理に関すること
	主査研究員	堅田 昌英	水産衛生対策，漁場環境（赤潮・貝毒）に関すること
	主 査	佐々木 明生	調査研究の補助，船舶「なぎ丸」・海上筏の管理に関すること
	副主査研究員	白石 智孝	藻場造成（コンブ目），スマの種苗生産・養殖，マナマコの種苗生産に関すること
	副主査研究員	加藤 文仁	魚類種苗生産・養殖，クエの共同研究，栽培漁業に関すること
漁業調査船 (きのくに)	船 長	伊勢谷 俊人	船舶の管理・運航，海洋観測調査，飼育施設等の保守管理に関すること
	機関長	濱口 尚信	〃
	主査航海士	小西 寛弥	〃
	主査機関士	鳥居 英希	〃
	主査機関士	平見 謹一	〃
	副主査航海士	住谷 勝志	〃
	副主査機関士	清野 茂	〃
	機関士	井筒 優	〃
内水面試験地	主任研究員	葦澤 崇博	ウナギ資源，水産衛生対策に関すること
	主査研究員	高橋 芳明	アユ資源，施設の整備，業務全般の補助に関すること
	副主査研究員	中山 仁志	アユ冷水対策に関すること

## II 業務

### 1 試験研究項目一覧

事業名又は課題名	予算額	財源内訳			
		国庫	使用料・手数料	諸収入	一般財源
水産試験場費	112,189	900	1,895	20,567	88,827
水産試験場運営	18,865			337	18,528
内水面試験地運営	5,933		1,895		4,038
調査船運航	53,442				53,442
藻場再生をめざした「ブダイ」の食害対策技術の開発	2,678				2,678
地域で取り組めるヒジキ種苗生産技術の開発	1,251				1,251
漁業資源・漁場調査と情報提供	12,130			12,130	
高度回遊性魚類調査	7,100			7,100	
和歌山県特産魚の産卵場解明	478				478
イワシ・アジ・サバ類の漁場形成機構の解明と魚群速報の発信	2,233				2,233
磯根漁場の生産力強化技術の開発	1,679				1,679
新養殖魚「スマ」の種苗生産技術の開発	1,980				1,980
水産衛生対策	1,800	900			900
鰻来遊・生息調査	1,000			1,000	
アユ種苗における冷水病対策技術の開発	1,620				1,620
水産業振興費	3,246	1,488			1,758
資源管理・回復推進（資源管理課）	2,406	1,468			938
漁場環境モニタリング（資源管理課）	172	20			152
栽培漁業推進（水産振興課）	668				668
漁業調整費	54				54
漁業・遊漁調整（資源管理課）	54				54
漁業構造改善費	890				890
漁場効果調査（水産振興課）	790				790
プエルルス調査（水産振興課）	100				100
	116,379	2,388	1,895	20,567	91,529

## III 業績

### 1 外部に発表した事項

#### 1) 一般雑誌

題 名	発 表 者	発 表 誌
○魚粉 30%DP・EP によるアユの低魚粉飼料研究	中山仁志	月刊養殖ビジネス 2015年7月号
○アユ重要疾病とその対策⑤(最終回) ビブリオ病	中山仁志	月刊アクアネット 2016年1月号
○第4章 低魚粉飼料魚種別の最新事例 アユ～粗タンパク質含量の維持がポイント～	中山仁志	養殖ビジネス よくわかる！ 養魚飼料と低魚粉 2016年版

## 2) 書籍

題 名	発 表 者	発 表 誌
○ <i>Heterocapsa circularisquama</i> の個体群動態と環境要因	外丸裕司※ 白石智孝	有害有毒プランクトンの科学 (今井一郎・山口峰生・松岡數 充編)
○浮魚の分散と加入	高橋正知※ 川端淳** 原田慈雄	魚類の初期生活史研究, 水産学 シリーズ 182

※ (国研) 瀬戸内海区水産研究所、\*\* (国研) 中央水産研究所

## 3) 学会等の発表

題 名	発 表 者	発 表 誌
○養殖トラフグとマダイにおける粘液胞子虫性やせ病原因虫の検出状況	堅田昌英 奥山芳生 小久保友義 中西 一	魚病研究 (日本魚病学会誌) 第 50巻第3号 (2015年9月発行) (論文投稿)
○梅酢の種類および添加濃度を変えた梅酢投与マダイの成長および抗病性	堅田昌英	和歌山県農林水産試験研究機関 研究報告第4号
○スマの養殖技術の開発-4 スマ人工種苗の量産化を目指したスマ: イシダイの仔魚 混合比および収容卵数の検討	白石智孝 加藤文仁 奥山芳生 中西一 東剛久※ 有本一平*** 土岐隼一*** 矢澤良輔*** 竹内裕***	平成 28 年度日本水産学会春季 大会 (口頭発表)
○紀伊水道周辺海域における潮位変動と黒潮流路変動の関係	原田慈雄	平成 27 年度資源海洋調査研究 会 (口頭発表)
○海況把握における潮位データの有効性	原田慈雄	第 37 回稚魚研究会 (口頭発表)
○紀伊水道における漁業資源の変遷と現状	原田慈雄 武田保幸	平成 27 年度紀伊半島研究会 (口頭発表)
○和歌山県における 2015 年のカツオひき縄漁	小林慧一	第 28 回 JAFIC 研究会 (口頭発表)

○ひき縄漁業者の操業日誌から算出した和歌山県沖へのカツオ来遊豊度の長期変動傾向	小林慧一 清藤秀理***	平成 27 年度資源海洋調査研究会(口頭発表)
○ひき縄漁業者の操業日誌から算出した和歌山県周辺海域における春季カツオ来遊豊度の長期変動傾向	小林慧一 清藤秀理***	黒潮の資源海洋研究(17) (論文投稿)
○2015 年の全国カツオひき縄漁況の特徴	小林慧一	第 30 回 JAFIC 研究会(口頭発表)
○アユ冷水病ワクチンの開発	中山仁志	平成 27 年度日本水産学会秋季大会(口頭発表)
○アユ冷水病蔓延から再発までの経過観察事例について	中山仁志	平成 28 年度日本魚病学会春季大会 (口頭発表, H28.3 開催)

※株式会社丸東、\*\*東京海洋大学、\*\*\* (国研) 国際水産資源研究所

#### 4) 委託事業報告書等刊行物

- (1) 漁海況速報 (週刊)
- (2) 人工衛星画像海況速報 (2015-No. 38~144, 2016-No. 1~36)

#### 5) 農林水産省研究会資料等

題 名	発 表 者	発 表 誌
○平成 27 年度国際資源対策推進委託事業第 1 回カツオ SU 推進検討会	小林慧一	同会議資料
○平成 27 年度瀬戸内海東部カタクチイワシ等漁海況予報会議	堀木暢人	同会議資料
○平成 27 年度国際資源評価等推進委託事業第 3 回カツオ SU 推進検討会	小林慧一	同会議資料
○平成 27 年度中央ブロック資源評価会議および第 1 回太平洋イワシ、アジ、サバ等長期漁海況予報会議	堀木暢人 原田慈雄 中地良樹	同会議資料
○平成 27 年度瀬戸内海ブロック資源評価会議	小林慧一 堀木暢人 原田慈雄	同会議資料
○第 2 回太平洋イワシ、アジ、サバ等長期漁海況予報会議、第 3 回資源評価調査担当者会議	堀木暢人 原田慈雄 中地良樹	同会議資料
○平成 27 年度国際資源評価等推進委託事業 まぐろ調査研究成果報告会	武田保幸	同会議資料
○平成 27 年度国際資源評価等推進委託事業年度末報告会	御所豊徳	同会議資料
○平成 27 年度異体類のアクアレオウイルス感染症情報交換会	堅田昌英	同会議資料
○平成 27 年度養殖衛生管理技術者養成本科実習コース研修		
○平成 27 年度瀬戸内海・四国ブロック魚病検討会	堅田昌英	同会議資料
○平成 27 年度水産用医薬品薬事監視講習会	堅田昌英	同会議資料
○平成 27 年度養殖衛生管理体制整備事業 太平洋ブロック地域合同検討会	堅田昌英 堅田昌英	同研修資料 同会議資料
○水産防疫の見直しに関する現地説明会		
○ブリ類の難治癒疾病連絡協議会	堅田昌英	同会議資料
○平成 27 年度魚病症例研究会	堅田昌英	同会議資料
○平成 27 年度全国養殖衛生管理推進会議	堅田昌英	同会議資料

○平成 27 年度有害プランクトン同定研修会	堅田昌英	同会議資料
○平成 27 年度漁場環境保全関係研究開発推進会議 赤潮・貝毒部会	堅田昌英 堅田昌英	同会議資料 同会議資料
○平成 27 年度ナマコ種苗生産研究会	白石智孝	同会議資料
○平成 27 年度瀬戸内海ブロック水産業関係研究開発推進会議 生産環境部会・増養殖部会合同部会	奥山芳生	同研修資料
○平成 27 年度瀬戸内海ブロック水産業関係研究開発推進会議 生産環境部会藻類情報交換会	木下浩樹 白石智孝	同会議資料
○平成 27 年度水産増養殖関係研究開発推進会議養殖産業部会	奥山芳生	同会議資料
○平成 27 年度鰻来遊・生息調査事業 計画検討会	葦澤崇博	同会議資料
○平成 27 年度鰻来遊・生息調査事業 中間検討会	葦澤崇博	同会議資料
○平成 27 年度鰻来遊・生息調査事業 報告会	葦澤崇博	同会議資料
○平成 27 年度アユ疾病研究部会	中山仁志	同会議資料
○平成 27 年度アユ資源研究部会	高橋芳明	同会議資料

#### 6) 新聞掲載

記事見出し（内容）	掲載年月日	掲載誌名
・養殖スマ、越冬成功	2015. 4. 2	朝日新聞
・研究 2 年目で越冬に成功	2015. 4. 3	熊野新聞
・幻の魚スマ 初の越冬	2015. 4. 4	読売新聞
・”スマ” 越冬に成功	2015. 4. 7	毎日新聞
・養殖スマ越冬に成功	2015. 4. 7	中日新聞
・「スマ」の越冬に成功	2015. 4. 14	産経新聞
・紀州特産，うま味成分，高級魚並みタチウオ，イサキ	2015. 5. 10	紀伊民報
・水鉄砲 イサキとタチウオに含まれるグルタミン酸	2015. 6. 6	紀伊民報
・魚粉減らし低コスト餌 内水面試験地が開発	2015. 6. 28	紀伊民報
・海底メタン調査 気泡確認	2015. 8. 25	読売新聞
・存在の可能性高いメタンハイドレート	2015. 8. 27	紀伊民報
・「全身中トロ」養殖に挑む	2015. 10. 5	朝日新聞
・養殖スマ 年内出荷へ	2015. 11. 22	産経新聞
・和歌山ブランド 県外へ売り込め	2016. 1. 12	産経新聞
・全国初 養殖スマ出荷	2016. 1. 13	紀伊民報
・全身トロ「スマ」初出荷	2016. 1. 13	朝日新聞
・「全身トロ味」スマ出荷	2016. 1. 14	みなと新聞
・スマ あす全国デビュー	2016. 1. 15	朝日新聞
・養殖スマ販売で和歌山県	2016. 1. 15	共同通信
・スマでもライバルに	2016. 1. 16	わかやま新報
・火花散らすスマ	2016. 1. 16	毎日新聞
・養殖スマ 販売へ向け出荷作業	2016. 1. 16	紀伊民報
・県の養殖スマ販売	2016. 1. 16	紀伊民報
・高級魚「スマ」	2016. 1. 16	産経新聞
・全身トロ 養殖スマ	2016. 1. 16	読売新聞
・県産の養殖スマ初販売	2016. 1. 17	わかやま新報
・養殖魚・スマ 特産化巡り火花	2016. 1. 17	毎日新聞

・和歌山県産「スマ」に大行列	2016.1.19	日本経済新聞
・愛媛県と和歌山県 2大産地から養殖スマデビュー	2016.2.1	養殖ビジネス
・カツオ記録的不漁	2016.1.23	紀伊民報
・スマの初出荷に思う	2016.2.5	紀伊民報
・種苗生産や磯焼け対策 ～県水試の成果発表会～	2016.2.7	紀伊民報

## 6) 研究発表会

### (1) 県内養殖衛生対策会議

#### ① 日 時

平成 27 年 12 月 21 日

#### ② 場 所

水産試験場学習ホール

#### ③ 内 容（発表題目、発表者）

・養殖トラフグとマダイにおける粘液胞子虫性やせ病原原因虫の検出状況	増養殖部	堅田昌英
・水産用医薬品の適正使用について	増養殖部	堅田昌英
・串本浅海・うらみ養殖場の漁場環境について	企画情報部	木下浩樹
・混合飼育によるスマ種苗量産技術の開発	増養殖部	白石智孝
・和歌山県における栽培漁業について	増養殖部	加藤文仁

### (2) 水産試験場成果発表会

#### ① 日 時

平成 28 年 2 月 5 日

#### ② 場 所

紀南文化会館小ホール

#### ③ 共 催

公益財団法人わかやま産業振興財団

#### ④ 内 容（講演及び発表題目、講演者及び発表者）

基調講演 「和歌山のマナマコ・アサリ・カキ類を増やすための戦略」

国立研究開発法人 水産総合研究センター・瀬戸内海区水産研究所 主幹研究員 浜口昌巳

成果発表

・磯根漁場の生産力強化技術の開発 マナマコの種苗生産技術の開発	増養殖部	白石智孝
・磯根漁場の生産力強化技術の開発 藻場造成技術の開発	増養殖部	白石智孝
・新養殖魚「スマ」の種苗生産技術の開発	増養殖部	加藤文仁
・和歌山県特産魚の産卵場解明	資源海洋部	原田慈雄
・アジアカエビを中心とした小型底びき網漁業の漁獲実態について	資源海洋部	堀木暢人

## 2 研修生・見学者の受け入れ

### 1) 研修生の受け入れ

#### (1) 地域社会体験研修

潮岬中学校教師（1名） 7月24日、7月27日

#### (2) インターンシップ

長崎大学 （1名） 8月31日～9月4日

愛媛大学 （1名） 12月14日～12月18日

#### (3) 職場体験学習

大島中学校 (1名) 8月5日 ~ 8月7日  
 潮岬中学校 (1名) 8月26日 ~ 8月28日  
 串本中学校 (2名) 10月14日 ~ 10月16日

2) くろしおふれあい講座

(1) 参加者

県下12小学校、2中学校の計307名の参加

(2) 内 容

水産試験場概要説明, 和歌山の漁業, 海藻の分類、見学

3) 研修生・見学者の一覧

月	漁業関係		学校関係		行政関係		県民一般		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	8	12	3	116	9	18	3	7	23	153
5	7	12	3	260	16	43	3	6	29	321
6	3	4	9	248	17	28	5	172	34	452
7	6	8	13	146	5	25	10	32	34	211
8	8	11	13	24	10	12	6	20	37	67
9	10	11	3	143	4	55	7	41	24	250
10	9	66	14	1,190	6	14	2	6	31	1,276
11	12	34	2	217	3	15	9	195	26	461
12	16	56	2	37	4	37	1	1	23	131
1	9	11	1	51	4	11	6	31	20	104
2	3	8	2	42	6	29	4	5	15	84
3	6	7	3	11	8	41	3	4	20	63
計	97	240	68	2,485	92	328	59	520	316	3,573